

千葉県議会議員　保坂　こうへい

改革をとめるな

Vol.2
2025.11月

千葉新政策議員団（無所属会派）に合流

無所属議員で構成する会派である、千葉新政策議員団に加わりました。
県議会は、市議会に比べ、行政範囲も議員も多いため、会派での活動が重要になります。より一層、県民の負託に応えられるようにがんばってまいります。



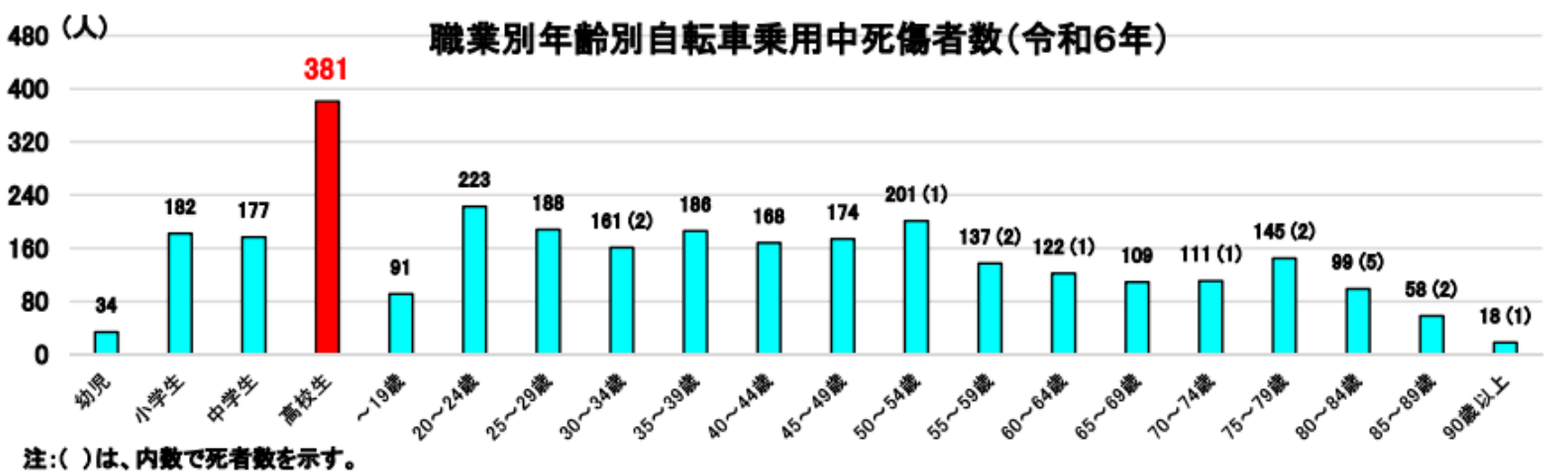
（左から）保坂／石川りょう議員（船橋市）／水野ゆうき議員（我孫子市）／熊谷知事／谷田川みつたけ議員（香取市・香取郡神崎町・多古町）／すなが和良議員（君津市）

自転車事故を防げ

進まないヘルメットの着用

自転車運転時のヘルメット着用が努力義務になりましたが、千葉県の自転車ヘルメットの着用率は7．9%（全国平均21%）と**全国ワースト4位**となっています（6月末時点）。





高校生にもヘルメット購入補助を

自転車事故の中でも、特に**高校生の自転車事故の死傷者数が突出**しています。高校生へのヘルメット着用を強く促していくことが重要です。

千葉新政策議員団

千葉新政策議員団

高校生の自転車通学についての安全対策は講じているのか。

県（教育長）

全ての県立高校生徒に対して、**自転車通学の際、ヘルメットの着用を求める。**



教育委員会の前向きな姿勢を引き出しましたが、四街道市のヘルメットの購入補助金は、小中学生のみ対象になっています。**高校生まで補助金の拡充**を検討するように鈴木陽介市長に要望しました。👉

相談窓口は使いやすく

LGBTQ相談窓口



昨年7月から運用が始まった千葉県のLGBTQ相談窓口。臨床心理士が、当事者の悩みを聞くという相談窓口ですが、すでにLGBTQについては、目的によってさまざまな相談窓口があります。相談窓口が乱立することで、当事者にとっての適切な相談先が判断しにくくなることも考えられます。**LGBTQ相談窓口の有効性**について問いました。

千葉新政策議員団

千葉新政策議員団

LGBTQに関する相談窓口は多数ある。当事者が混乱することが考えられないか。

県（副知事）

適切な相談先を紹介する。

窓口を作り、**取り組んでいることをアピールするだけでは意味がありません。**窓口の存在が、県民の不安解消につながることにこだわっていかなくてはなりません。また、利用者の利便性に加えて、効率化の観点からも相談窓口を使いやすくしていくことを求めました。

👆動画で解説

消防の広域化は市町村の判断で

メリットが見いだせない消防の広域化

千葉県消防広域化推進計画が制定され、県として、消防の広域化を目指すとの方針が示されました。四街道市は、長らく「広域化対象市町村」に指定されていましたが、**すでに近隣自治体との連携が進んでおり、広域化を進めてもより多くの費用がかかるなどメリットが見いだせない**という状況です。消防力強化の手段として有効な場合、広域化を進めるべきですが、広域化そのものが目的ではないはずです。

千葉新政策議員団

千葉新政策議員団

県はどのように消防の広域化をすすめていくのか。

県（副知事）

市町村の自主的な判断にもとづいておこなう。

👇四街道市消防庁舎



消防庁舎の建て替えなど、四街道市の抱える消防の課題を円滑に進めるためにも、県が推進する**広域化はあくまで手段の一つ**であり、市町村の自主的な判断が最優先とすることを強調しました。

深刻な教員不足



教員未配置数（法律に定められた教員の数が足りていない）は、県内公立学校（千葉市を除く）で425人に上ります（3月1日時点）。教員不足に対する県の取り組みを確認しました。

千葉新政策議員団

千葉新政策議員団

教員志願者増加のための県の取り組みは。

県（教育長）

・採用選考の複数回実施
・ちば夢チャレンジ特別選考（大学3年次での受験可能な選考）の実施
・教員免許の有無によらない特別免許状の活用（注：さらなる活用を要望しました。）

教員は、子どもたちの教育に支障がないように、涙ぐましい努力をしてくださっています。引き続き、**教員の負担軽減、志願者増加のための政策を提言**し続けます。

〒284-0025　四街道市さちが丘1-18-11（事務所：四街道市大日288-17）
TEL.　090-5308-2009
E-mail.kohei_hosaka@yahoo.co.jp

SNSでも発信中→

お読みいただきありがとうございます。読後は古紙回収にご協力くださいませ。